



ゲートボールで和気あいあいと

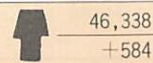
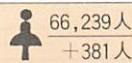
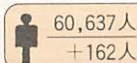
さわやかな秋晴れの広がった11月1日、市内各地から90チーム約800人のお年寄りが参加して、老人クラブゲートボール大会が山口南総合センターで開かれました。勝ち負けにはあまりこだわらない大会とあって、ゲーム中は和気あいあい。それでも、自分に順番が回りスティックを握ると、まなざしは真剣そのもの。90歳を超えるお年寄りも参加していましたが、毎日の練習が日課というだけあって、みんな元気にゲームを楽しんでいました。

毎月15日は、お年寄りの交通安全日

思いやり みんなですすめる 交通安全

交通安全状況 《10月》

- 発生件数 82 (累計/603/前年比+22)
- 死亡者 0 (累計/10/前年比-2)
- 負傷者 94 (累計/679/前年比-7)



(上段の数字は平成2年11月1日現在、下段は本年1月1日との比較)

山口市の人口

129,467人

国勢調査の概要まとまる



最近のマンション建設ブームで人口の定住化が進みました。

5千2百54人 増える

10月1日現在で実施された国勢調査は、8百62の調査区に調査員7百59人によって行われました。調査員から提出された調査票の審査および集計作業を急いでいましたが10月31日、この作業が終り、関係書類を県に提出しました。

10月1日に実施された平成2年の国勢調査の概要がまとまりました。

山口市の人口は12万9千4百67人で前回(昭和60年)より5千2百54人増えました。

増加率は4.2%。前回の8.2%に比較して半減しましたが、県内では山口市は高い伸び率が見込まれています。

過去の統計では、昭和25年が9万6千8人、昭和30年9

順調な人口増(増加率4.2%) 社会資本の整備で定住化が進む

なっています。

一世帯当たり(2.77人)核家族化が進む

世帯数は、4万6千6百9世帯で前回より3千8百19世帯(8.9%)の増加となりました。一世帯当たりの人数は2.77人(前回2.90人)となつて世帯の核家族化傾向が続いています。

男女別人口は、男6万2千2百40人、女6万7千2百27人で、前回に比べ男3.7%増、女4.8%の増と女の増加率が高く女百人に対する男の比率は92.6%となつてい

ドーナツ化現象の傾向は続く

地区別では、人口の増加が最も多いのが吉敷地区で、大内、平川、大歳、白石、宮野、小鯖、陶地区が増えています。

このように周辺部は人口増加となつており、「ドーナツ化現象」の傾向が続いています。

人口の減少した地区は、旧市内の大殿、湯田地区および仁保、南部地区の名田島、秋穂二島、嘉川、佐山地区です。

特に湯田、大殿地区は数字の

ます。

平成2年国勢調査概数

(国勢統計区別)

地区別	平成2年				昭和60年				対60年増減		対60年増加率	
	世帯数(A)	世帯人員		世帯数(a)	世帯人員		世帯数	人員	(A)-(a)	(B)-(b)	(A)	(B)
		総数(B)	男		女	総数(b)						
計	46,609	129,467	62,240	67,227	42,790	124,213	60,041	64,172	3,819	5,254	108.9	104.2
大白湯仁小大宮吉平大	3,754	10,267	4,906	5,361	4,035	11,671	5,632	6,039	△ 281	△ 1,404	93.0	88.0
殿石田保内野教川	4,122	10,515	4,738	5,777	3,752	9,726	4,353	5,373	△ 370	△ 789	109.9	108.1
田保内野教川	5,664	14,025	6,698	7,327	5,902	15,076	7,224	7,852	△ 238	△ 1,051	96.0	93.0
仁小大宮吉平大	1,131	4,104	1,950	2,154	1,186	4,239	2,045	2,194	△ 55	△ 135	95.4	96.8
大宮吉平大	1,380	5,067	2,335	2,732	1,255	4,779	2,236	2,543	△ 125	△ 288	110.0	106.0
大宮吉平大	5,158	15,991	7,735	8,256	4,332	14,220	6,932	7,288	826	1,771	119.1	112.5
大宮吉平大	4,588	13,220	6,089	7,131	4,287	12,863	5,852	7,011	301	357	107.0	102.8
大宮吉平大	3,579	10,602	5,024	5,578	2,672	8,549	4,094	4,455	907	2,053	134.0	124.0
大宮吉平大	7,766	14,859	8,195	6,664	6,788	13,275	7,492	5,783	978	1,584	114.4	111.9
大宮吉平大	3,575	9,443	4,533	4,910	2,822	8,023	3,876	4,147	753	1,420	126.7	117.7
陶	786	2,804	1,313	1,491	770	2,715	1,284	1,431	16	89	102.1	103.3
銭田	890	3,773	1,823	1,950	883	3,809	1,858	1,951	7	△ 36	100.8	99.1
島	489	1,783	832	951	486	1,889	900	989	3	△ 106	100.6	94.4
島川	944	3,382	1,584	1,798	932	3,547	1,668	1,879	12	△ 165	101.3	95.4
山	2,015	6,932	3,232	3,700	1,936	7,016	3,297	3,719	79	△ 84	104.1	98.8
山	768	2,700	1,253	1,447	752	2,816	1,298	1,518	16	△ 116	102.1	95.9

注) 1 平成2年国勢調査は、大殿、白石、湯田、宮野、大歳地区で昭和60年国勢調査の国勢統計区と若干相違するため、これらの地区については、増減・増加率が単純比較出来ない。
2 世帯数の中には、自衛隊、矯正施設の調査単位14を含む。
3 この数は概数であり、後日、総務庁統計局から公表される数と相違することがある。

都市機能の整備で定住化が進む

山口市の人口が増加した理由は、仁保および南部地域の農村部の減少は、年齢別人口、自然動態による高齢化、出生率の低下によるものと思われる。

また、企業誘致により雇用力が増し、転出等の社会動態に歯止めがかかったことなどがあげられます。

特に交通網が整備され、遠隔地通勤が可能になったこと、情報通信関連産業等の進出によって都市的機能が備わった

秋の叙勲 市内から 12人受章

平成2年秋の叙勲が、10月23日の閣議で市内から次の方々の授与が決まりました。

功労の分野は、それぞれ違っても、その道一筋に活躍された方々です。

(一)内は、年齢、住所、主要経歴、功労概要の順(敬称略)

▽勲三等旭日中綬章
松永常一(70・大内・元山)
口県副知事・地方自治功労

▽勲五等双光旭日章
小林正人(81・下市町・人権擁護委員・人権擁護功労)

▽勲五等双光旭日章
溝部玄行(70・仁保・元山口)
家庭裁判所主任家庭裁判所自治功労

▽勲五等瑞宝章
山藤信夫(70・吉敷・元山口)
地方裁判所資料課長、裁判所事務功労

▽勲六等瑞宝章
杉山弘志(68・吉敷・元山口)
刑務所看守長・矯正業務功労

市職員採用試験(技能職員)

職員および採用予定人員	受 験 資 格
環境衛生整備員 3名	昭和40年4月2日から昭和48年4月1日までに生まれた人で、中学校卒業以上の学歴を有する人
給食調理員 3名	昭和31年4月2日から昭和36年4月1日までに生まれた人で、中学校卒業以上の学歴を有する人
家庭奉仕員・寮母 1名	昭和26年4月2日から昭和36年4月1日までに生まれた人で、中学校卒業以上の学歴を有する人
校務事務員(用務員) 1名	昭和26年4月2日から昭和36年4月1日までに生まれた人で、中学校卒業以上の学歴を有する人

受験手続 「受験申込書」(市職員課、市役所受付、各出張所にあります)に必要事項を記入し、最近6か月以内に撮影した写真をはり、市職員課(〒753山

口市亀山町2-1)にし込んでください。
受付期間 11月15日(木)～11月29日(木)へ必着
1次試験 12月9日(日) 市役所で適性検査

調査官・裁判所事務功労) 高島治助(71・上野小路・(社)山口県食品衛生協会会長・食品衛生功労)

児野 隆(74・大内・元山口) 市議会議員・地方自治功労

安原政夫(70・楠木町・元岡山県陸運事務所長・運輸行政事務功労)

山藤信夫(70・吉敷・元山口) 地方裁判所資料課長、裁判所事務功労

▽勲七等瑞宝章
杉山弘志(68・吉敷・元山口) 刑務所看守長・矯正業務功労

▽勲七等青色桐葉章
上田長熊(61・幸町・元三等陸尉・防衛功労)

▽勲七等瑞宝章
森 常春(67・矢原・元山口) 刑務所副看守長・矯正業務功労

第5回 市議会臨時会開催
11月2日、第5回山口市議会(臨時会)が開催された。議案が可決されました。

一般会計補正予算 歳入歳出予算にそれぞれ50万円を追加し、総額3億10億千776万6千円。
三和町市営第4アパート新築工事の請負契約 1億9千58万円。

文部大臣表彰

内田伸氏受賞

地域文化功労者文部大臣表彰に、文化財保護関係の功績が認められ、市歴史民俗資料館々長内田伸さん(68歳・銚銭司)が受賞されました。

山口市芸術文化振興基金協賛のお願い

山口市では、芸術文化の一層の振興を図るため芸術文化振興基金を設置しました。この基金は、市からの出資金と、寄付金によるものです。基金から生ずる基金益により、芸術文化活動に助成を行い、市の芸術文化の発展に役立てようとするものです。ご協力をお願いいたします。

■用途
(1)優れた舞台芸術や、演奏家等の招へい、市民大学等の自主文化事業実施
(2)文化団体への助成と創作活動への援助
(3)文化施設の機能的運営等

■積立目標額
平成9年度を目途に2億円(市出資金1億5千万円、一般寄付4千5百万円、平成3年度運用開始年度)

詳しくは市教育委員会社会教育課(☎22-4111)へ

みんなで考える

まちづくり

みんなで知恵を出し合い、特色ある地域づくりを進める。さとづくり、まちづくり。推進事業が決まりました。地区シリーズで紹介します。

水と緑と史跡豊かなまちづくり

〔大内地区〕

水と緑と史跡豊かな
ユニークなのは事業の推進に自治会、町内会、体協、子ども会も入って専門委員会を設けて事業を進めており、まさに地域ぐるみです。

歴史を知ろうの推進役の竹重勇二さん(上矢田)は、「新しい住民が多くなって、大内の貴重な歴史を知らない人が多いところ会場いっぱいになりましたよ。興味ある人が多いのがうれしいです。」まちづくりの感触は十分のようです。

大内のまちづくりを指して、「地域の歴史を知ろう」「都市美観づくり」「むらおこし啓発」の、三つを柱として地域おこしを進めています。大内地区は山口開祖の大内氏が住んでいた所とあって由緒ある史跡を広く地区民に知ってもらうために歴史講座や大内氏ルーツ探訪、20か所に史跡案内板の設置を急いでいます。

また地区を流れる仁保川、問田川の河川敷に春はアブラ菜、秋はコスモスが咲き誇る美化運動を進めるとともに、12月までには「大内音頭」を作り地区の融和を目指しています。



会場いっぱいになった地区の歴史を知る文化財教室

同和問題の早期解決をめざして

“人として生きる願いをたいせつに”

特集「人権を守って明るい町づくり」

みんなの願い

21世紀を象徴するかのよう
な、幼い子供たちの明るい笑
顔がここにあります。まこと
にほほえましく、心なごむ気
持ちがします。

男の子も女の子もとても楽
しそうです。でも、将来にわ
たって女の子として生れたが



“21世紀の担い手”
大内幼稚園のよいこのみなさん

故に就職等で不当な扱いを受
けることがあったら、それは、
許しがたいことです。
たまたま、女の子、男の子
に生れたに過ぎないからです。
この子供達は、各地から通
って来ています。また、両親
の職業等もさまざまです。

子供達は、たまたま、この
地、この家に生まれただけな
のです。どんな環境のちがい
はあるにせよまぎれもない日
本の国民であり国の宝です。
それが、大人の偏見や無理
解によって、あそこの町に生
まれた者は、父親がどんな仕

事しているかといつて、結
婚や就職等において、不当な
差別があつては、絶対に許さ
れません。
差別をなくしてお互の人権
が尊重される、明るい社会の
実現が私達みんなの願いなの
です。

研修視察に参加して（福岡県八女市）

同和教育推進委員 小林 正人

十月八日、八女市教育委員
会を訪ね、教育長をはじめ社
教課長外関係の主事各位から
社会同和教育の取り組みにつ
いて詳細にお話を伺いました。
とくに教育長から同和問題は
人間の基本的な人権が侵害され
憲法で保障されている市民的
権利と自由が、完全に保障さ
れていないという重大な社会
問題であり人権問題というこ
とをふまえて、市挙げて問題
解決のための啓発活動の中に
「人権尊重は市民の連帯で」
のスローガンが生きているこ

とに、深い感銘を覚えました。
また、校区別推進体制樹立
の必要については、私共が組
織づくりを進めている地区同
推協の設立と同様で、心強い
感を持ちました。研修を終え
宿泊地柳川への車中で、八女
市の人権問題町内懇談会の状
況など根をおろした活動、更
に行政・民間で結成された同
和教育研究協議会を通しての
同和教育の推進などを整理し
ながら、柳川に到着しました。
差別を許さない心の目を育
てるためによい研修でした。

地域ぐるみの同和教育

仁保地区 湯田地区

今年度仁保地区が、同和教
育推進地区指定を受けました。
早速、同和教育推進協議会
を開催して、地域ぐるみでこ
の問題に積極的に取り組むこ
とを確認しました。

「住民の一人ひとりが人権
尊重の大切さを自覚し、同和
問題を自分のこととしてとら
え、自らを変える学習を始め
る意欲と環境づくりに努める」
を課題とし、地域ぐるみで取
り組んでいます。具体的には、
同和教育ミニ学習会を実施し
同和問題を正しく理解し、差
別を許さない人権尊重の地域
づくりを目指します。また、
公民館だよりによる広報活動
にも力を入れています。その
他同和教育推進委員の研修視
察や、まとめとして推進大会
も予定しています。

仁保地区住民の一人ひとり
が、同和問題を自分自身の問
題として受けとめ、差別のな
い明るい地域が実現するよう
に、まず、協議会委員が研修
をしました。

10月14日、関係機関、団体
へ呼びかけ、学社連携で地区
推進大会を開催して明るい村
づくりの実現をめざしました。

平川小学校
研究テーマとして、豊か
な心情を育む同和教育

一認め合い、励まし合う平
川っ子の育成をめざして一
を掲げ、「学級づくり」を中
心にした同和教育を推進し
ています。

取り組みの間口を特別活
動の分野に絞り、動きのある
具体的な活動の中での子
供の変容を事実として生み
出していこうと日々努めて
います。

場作り、働きかけの工夫、
主体的に動ける子供の育成
など研究課題は尽きません。

指定校に おける 同和教育

湯上中学校

本校では、一人ひとりが
基礎学力を身につけ、同和
問題の解決に主体的に取り
組む生徒の育成を目標に掲
げています。

具体的には、望ましい生
活習慣をつけること、学習
方法の改善、同和対策の諸
施策などについて研究し、
さらに隣保館とも連携して、
学力促進学級の充実にも取
り組んでいます。これらの
研究を深めるために、月1
回は研究会を開いて計画の
進み具合や、生徒の変容を
確かめ合っています。

同和問題の解決はみんなの手で

同和問題を早期に解決し、明るい町づくりをするのは、市民一人ひとりの責務であることはいわれている通りです。そこで、広く市民の皆さんに参加いただく研修会を計画的に実施し、多くの皆さんに参加いただいております。

次に実施した主なものを紹介します。

同和教育指導者養成講座

今年度で6回目を迎えた本講座の修了者は326人になりました。

この講座の趣旨は、地域・職場における社会同和教育の一層の推進を図るために指導者の育成を目指すものです。

6月7日から2日間、消防本部講堂で93人が参加して、同和問題の歴史的背景や本質、山口市の同和对策事業の概況について認識を深めました。

また、フィルムフォーラムや、シンポジウムも行



93人が参加の指導者養成講座

て、活発な意見が飛び交いました。

6年生担任同和教育研修会

小・中一貫した同和教育が推進されている中で、小学校6年生になると、日本の歴史で部落差別の形成、その仕組み、解放への努力などを初歩的に学習し、基

本的人権に係る不合理を追求する態度を学びます。

8月28日、市内小学校6年生担任が山口隣保館で、教材研究および指導案の作成等、グループに分かれて、具体的な検討・協議を行いました。

転任教員同和教育研修会

他市町村から転入した教員を対象に、本市の同和教育について理解を深めると共に、学校同和教育の諸問題について協議し、指導者としての資質の向上を図ることを目的として、8月23日に山口隣保館で開催しました。

講師としては、「隣保館と同和問題」と題して山下山口

隣保館長、「小・中学校の同和教育の現状」と題して、陶小・三輪先生、鴻南中・原先生にそれぞれお願いしました。

企業・職場同和教育

山口松下電器K・K 当社の同和教育は、緒にいたばかりです。本年度から新入社員導入教育の中に同和教育を取り入れました。

内容は部落差別の作られた背景、歴史のビデオ視聴の後、先輩社員を交えて自由討論を行うというもので、新入社員

に一人前の社会人として同和問題に対する理解を深める事を目的としています。

今回は、中堅社員を対象として、同和教育の場の設定を検討中です。

公民館で同和教育

公民館は、地域住民の社会教育拠点です。同和教育については各講座に取り入れて実施しています。

また、婦人会等の社会教育関係団体に対しては、同和教育を積極的に取り組むよう指導し、実際に行われています。市民の皆さんの参加をお願いします。

市民ぐるみで取り組んでいます



子供の人権を考える研究協議会

子供の人権を考える研究協議会

はたして、現代においてすべての子供の人権は守られているのでしょうか。そこで、「心身の障害、いじめ、同和関係」の子供に視点をあて、6月29



企業・職場同和教育連絡協議会

企業・職場同和教育連絡協議会

日から3会場、実践発表、研究協議をしました。

出席者は、教職員、PTA、青少年指導員等で、皆さん異口同音に、子供の人権を守るのには大人の責務であるとの認識を新たにしました。



同和教育推進委員の視察研修

山口市同和教育推進委員研修視察(八女市)

10月8日・9日、福岡県八女市を訪問し、社会同和教育の研修をしました。

八女市は人口4万人程度の町で、同和教育は市の重要な施策とし、行政と市民が一体となって取り組んでいます。

公民館が地域の中心となり同和教育を各講座に位置づけて実施されています。また、各町内会で、すべての市民を対象に研修会が計画的に開催されています。

同和教育指定校研修視察(宇部市)

今年度から新規に実施する指定校の平川小、湯上中および指定地域の仁保、湯田の研修担当者20名が、7月4日、藤山市民センターで研修しました。

藤山校区では、同和教育推進協議会・市民センターが中心となり、社会教育関係者、学校、自治会の協力を得て、す

視察・交流・講座

すべての町内会で同和教育懇談会を開催し、同和教育への参加の機会を多くし、広く市民への啓発に努力されています。

同和教育婦人交流会

市内15地区の婦人会長および会員と市内A地区の婦人が8月26日、第2回交流研修会を開催しました。

「過去の体験を通じて」と題して、大隅静馬さんの基調講演のあと参加者が4班に分かれ意見交換や協議をしました。

なごやかな内にも、差別の現実を憤りを感じ、同和問題の解決を目指し、婦人会としてより積極的に取り組むことを約束して終了しました。

西京老人だいがく

市内各地の「西京老人だいがく」で同和教育が実施されています。そこで、同和問題に対する偏見を払拭し、実践に通ずる講座が行われています。



同和教育婦人交流会

特集 「人権を守って明るい町づくり」

特集 「人権を守って明るい町づくり」

山口県同和対策推進強調期間(11月11日～20日)にちなんで、県に応募された市内中学生の作品を山口市で選考を行い、優秀作品を決定し、これを県に出品しました。なお小学生の感想文は山口市が独自で募集したものです。

応募点数は中学生ポスター1千3百49点、標語5千3百9点作文7百点計7千4百10点小学生感想文3千百18点でした。

わたしは、1年生のころから今までに、いろいろなあだ名を言われて悲しい思いをしてきました。

1年生の時、みんなから、「ぶす」とからかわれ、帰りに、くつでランドセルをふんづけられました。その時の傷あとがはつきりと、今もランドセルには残っています。

自分の身体のこと、気になりだした5年生の時に言われたあだ名は、強れつなものでしばらくの間、ショックでなかなか立ち直れませんでした。

5年生になると、少しニキビがで始め、そのことに対して男子が変なことを言いました。しかも、わたしは



標語・特選

差別をなくす 確かな認識

大内中1年

木村

敬

豊かな心

背が高いし、かみの毛が少し天然パーマがかかっているの
で、「ぶつぶつ大仏」とか「パーマニキビ」などと言われ続けました。言われた時は、言い返えすのですが、家に帰り



感想文 特選

佐山小6年

右田裕子

なかよしの学習をして

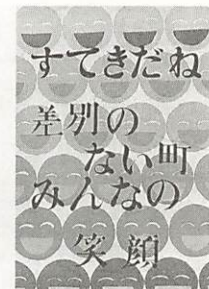
夜一人で机についていると涙が知らず知らずのうちに、止めどもなくあふれ出てきます。わたしが男子に対して何か悪いことを言ったでしょう。別に悪いことをしてないのに、なぜ、わたしだけそんなことを言われなければならない

人ではしゃべりし、学校に登校しても元気がありません。わたしは、いやなあだ名や仲間はずれを1年のころからずっと経験してきたので、その人の心の痛みが、痛いほどよく伝わってきました。その人と友達になったら、他の女子

から何を言われるかわかったけど、それをかくごで言いました。「Aさんがあなたたちに、何かしたというの。人の悪口をかけたこそ言ったり、どうにもしようがない身体をあだ名を言ったりして、何が楽しいんかね。最低よ。」

言ったあとで、しまったと後かいました。「ええ子ぶつてから」と思われたかもしれない。「かつこつけて」とあとで言われるかもしれない。それが、こわくなったのです。

しばらくすると、Aさんはあだ名を言われたり、仲間はづれにされたりすることがなくなりまし。あの時、おもいきって言ったのがよかったからかもしれません。



平川中3年

大谷輝久美



大内中3年

嶋田 恵恵



川西中3年

棟久 昌恵



湯田中3年

表 純子

ポスター・入選

宮野中1年

重村 尚徳

標語・入選

差別のない 社会はみんなの努力から
宮野中3年 徳田 大輔

差別せぬ 努力今日から
私から
鴻南中1年 金沢裕美子

養おう 差別見わけ
心
川西中3年 藤井さやか

広めよう 深めよう 差別をなくす心と知識
湯上中3年 渡辺 淳子

ぼくたちは 差別をなくす
未来人
仁保中3年 村田 英樹

中学生作品

《ポスターの部》

《佳作》大内中3年酒井智美、白石中3年林訓子、湯田中3年遠藤智子、鴻南中3年三吉加代、川西中2年徳永幸子、二島中2年河口華めぐみ、湯上中2年河口華恵、大内中1年折居美亜、仁保中3年山下真弓、平川中2年中嶋久仁子

《標語の部》

《佳作》宮野中1年岩本恵、大内中2年宗像紀明、白石中3年品川信乃、同3年手代木由美、湯田中1年山田奈央子、二島中1年小川景子、同3年福本敦子、湯上中3年亀井真由美、大内中

「差別はいけない」このことはだれもがよく知っていることです。

しかし、このことをどれほどの人が理解し行動に移しているかを考えると、そう甘くないのが現実です。

現に、世界中には、アパルトヘイト問題やユダヤ人への差別、カースト制の名残りなど多くの差別が存在しています。

肌の色や生まれる所を私達は、指定することができません。それは、偶然にそうなったのであって、それにより、人格が決まるなどあってはならないことなのです。

中学校に入って、初めて同和問題のことについて習った時、他の国には差別があるけど日本にはない、と思っていた私は、とてもびっくりしました。

新聞で「日本人は意外と自分達の国を知っていない」と外国人に言われていることが書かれていましたが、その一

つがこの同和問題だったのだと思います。

しかし、私が本当の意味で同和問題を絶対になくさなければならぬ、と決意できたのは中2の春休みからでした。

祖母の以前から仲の良かった友人のKさんがこられた時のことです。

3人で昼食を食べながら、何の弾みかでKさんがこんな

わるの?と心の中で反論しながらも、その一言が言えませんでした。

そして、Kさんに祖母がどう答えるかを考えると、心配になりました。

祖母は、まがったことの大嫌いな人です。

50年近くも看護婦として働き続け、そして退職して今なお、地域の福祉の仕事も頑張

ふるさと 故郷を守る

文選

作特

大内中3年

安部 元美

(山口県同和对策強調旬間の応募作品)

ことを言われたのです。

「同和地区の子供は陰険ですよ。うちのM子も中学時代にはよく、自転車タイヤをパ

ンクさせられたものですよ。同和地区の人って怖いんですね」私は、同和地区、同和地区ってどうしてそんなにこだ

っているのです。

しかし、祖母と同じくらいの年代の方は同和問題に対して強い偏見をもっていると聞きます。

もし「そうですね、そうですね」と祖母が答えたらどうしよう。そうすれば私は、もう祖母を尊敬という目で見ることができないと思いました。

私は、かたずをのんで祖母の返事待っていました。しばらくして祖母は答えました。「Kさん。私は長い間看護婦として働いてきました。

現役の総婦長時代に、何人か教え子の看護婦の中にも同和地区出身者がいました。

でもその子達は、注意をしても素直に聞いてくれたし、第一、とてもまじめないい子でしたよ。生れた場所によつて、その人の人生が決まるなんて馬鹿げた話はないですよ。

M子ちゃんに嫌がらせをした人は、たまたま同和地区出身者かもしれないけど、全員が悪い人だなんて決めつけるのは、あなたの偏見ですよ。

言葉つきは、柔らかですがきつぱりとした強さがそこにはありました。

私はホッとするとともに、自分自身が恥ずかしくなりました。私は今までこの問題に

対してだれかが解決してくれるのを待つ側であり、自分から立ち向かう勇氣をもってい

なかつたからです。子供だから、の一言で逃げ、また、止めれば自分の立場が危くなるから、とだれかがいじめられているのを見て黙認してきて

たのです。

Kさんが帰られた後、祖母は言いました。「同和問題はね、一人一人の強い意志と正しい理解が解決への道を開くんよ。もし、同

和問題のことを正しく知っておけば、親から子へ子から孫へとつながってきた差別は、ピリオドが打たれるんじゃないか。

私はこの時、心の中ではつきりと決意しました。結婚や就職など、多方面にわたる差別を少しでもなくすために、私はもう二度と傍観者になるまいと。

私は、差別とは傍観者によって受け継がれるものだと思います。私達は人間の尊厳を勝ち取るために、住みよい故郷作りのために、一人一人が差別と闘わなければなりません。

せつかくこの世に生を享けた命に、いわれなき罪を背せ、それを見過ごしているのは卑怯です。

故郷は、だれにも美しく懐かしいものであり、心の支えです。私は、その故郷を差別と偏見で塗り固めたくありません。

かけがえのない故郷を守ることは私達一人一人の行動にかかっています。

私も故郷を守り、人間の尊厳を育むために、同和問題早期解決に向けて前進したいと思

います。

小・中学校の児童・生徒は同和問題をはじめあらゆる差別の不合理を認識し、実践して

いと共に、同和問題解決に努めましよう。

めあらゆる差別の不合理を認識し、実践して

いと共に、同和問題解決に努めましよう。

3年佐藤恵、平川中3年木阪麻美

〔作文の部〕

〔入選〕湯田中3年来栖彰子、鴻南中1年金沢裕美子、湯上中3年高井こずえ、同2年阿部優子、仁保中1年西谷純子

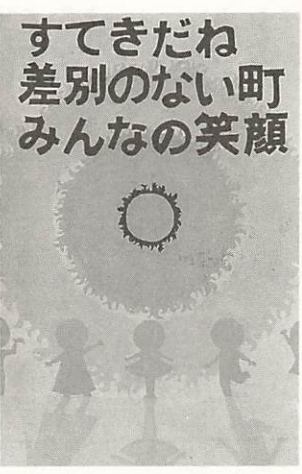
〔佳作〕宮野中2年松村陽子、大殿中3年宗像阿紀、同1年河野寛子、白石中2年末吉菜穂子、鴻南中2年宮村祐貴子、川西中3年松井美樹、湯上中2年亀井法代、二島中3年平井佳子、大内中3年杉山裕美、平川中3年重富亜希子

小学生感想文

〔入選〕湯田小6年大宅貴子、良城小6年遠藤野ゆり、大内小6年有井陽子、同6年古田恵子、同5年村井絵美

〔佳作〕宮野小6年池上裕美枝、白石小5年伊藤由紀子、大殿小5年本広陽子、湯田小6年松田周子、大蔵小6年木村貴子、同6年星出久美、同5年石津康太郎、平川小6年坂井宏美、陶小6年杉山裕美子、嘉川小5年重富陽子、興進小5年伊藤美奈子、二島小6年松本久美子、同5年保手浜彩、鏝銭司小5年新川美由紀、大内小6年徳原真由美、附属小6年稲田祥子

一選
ポスタ
特選
湯田中3年
遠藤礼子



特集 「人権を守って明るい町づくり」

平成2年度上半期の財政公表

不燃物処分場や斎場など
着々と進む生活基盤の整備



来年4月の使用開始を目指し、工事の進む大内神田不燃物最終処分場。容量は約34万㎡で、およそ10年間は処理できます。

市の予算がどのように執行されているか市民の皆さんにお知らせするため、地方自治法に基づく財政状況の公表に関する条例により、平成2年度上半期（4月1日～9月30日）の財政状況を公表します。

一般会計

一般会計の予算規模は、当初3億5千万1千5百万円でスタートし、その後、5億2千万円の追加補正を行い、総額3億10億1千7百万円となっています。

補正の主な内容は、湯田温泉活性化推進事業に1億2千万円、

一般会計の収支状況（9月末現在）

歳入項目	予算現額(万円)	収入済率(%)	
		収入	済率
市税	140億9,999	51.6	
地方譲与税	8億5,470	9.3	
利子割交付金	2億6,300	95.2	
ゴルフ場利用金	6,000	42.4	
自動車取得税	3億930	34.8	
地方交付税	32億400	69.8	
分担金および金租	3億7,778	39.5	
手数料および料金	3億3,822	59.4	
国庫支出金	31億1,073	20.9	
県支出金	12億3,494	8.1	
財産収入	1億9,005	39.1	
寄附金	3,706	22.1	
繰入金	8億368	0.0	
その他	46億793	0.3	
合計	310億7,838	36.8	

歳出項目	予算現額(万円)	支出済率(%)	
		支出	済率
議会費	2億7,280	46.0	
総務費	41億5,995	37.2	
民生費	48億5,544	37.3	
衛生費	44億3,914	31.1	
労働費	6,235	62.4	
農林水産業費	10億7,083	21.0	
工業費	13億8,630	43.6	
土木費	54億8,202	12.6	
防衛費	6億5,214	51.2	
教育費	50億3,264	25.7	
災害復旧費	4億1,286	5.1	
公債費	29億9,867	40.8	
諸支出金	2億1,100	100.0	
予備費	4,224	0.0	
合計	310億7,838	30.6	

(注)歳入歳出予算現額は、繰越額6,112万円を含む。

特別会計

（12区画中4社進出決定）、
鑄銭司団地の建設推進

特別会計の収入支出状況は左表のとおりで、このうち、

特別会計予算の収支状況（9月末現在）(単位:万円)

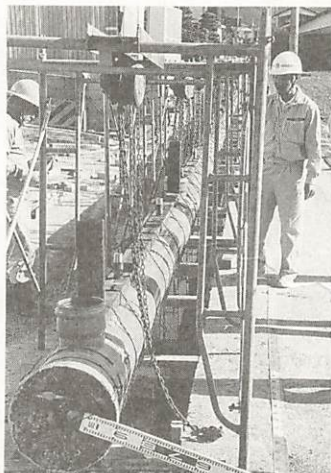
会計	予算現額	収入済額	支出済額	支出済率(%)
国民健康保険	55億9,343	16億2,947	20億9,544	37.5
老人保健	83億5,746	33億4,083	33億6,402	40.3
回生費	1億9,062	6,200	1,174	6.2
と畜場	1,747	34	735	42.1
下水道事業	32億8,497	3億6,190	8億7,995	26.8
土地取得事業	2億2,872	0	1,455	6.4
駐車場事業	3,355	1,602	1,161	34.6
特別林野	3,865	4,122	919	23.8
合計	177億4,487	54億5,178	63億9,385	36.0

市有財産現在高

区分	9月末現在高
土地	173万9,411.79㎡
建物	26万4,188.13㎡
山林	6,493.60ha
立木	64万2,566㎡
有価証券	5,576万円
出資による	3億4,324万円
権利	(土地)3,104.09㎡
債権	19億1,295万円
基金	40億3,792万円
現金	1,378.48㎡

市債現在高

区分	9月末現在高
一般会計	234億6,196万円
特別会計	130億1,430万円
合計	364億7,626万円



今年初めて採用された沈埋工法での下水道工事。あらかじめ組み立てた数10mにも及ぶ下水管を一度に埋設する（朝倉町）

下水道事業会計においては、若宮町、木町、周布町、折本等で工事を行い、湯田、大殿地区を中心に処理区域の拡大を目指しています。
※ 市有財産および市債の現在は、左表のとおりです。

ご利用ください 中小企業年末資金

- 融資対象 市内の事業所で、引き続き1年以上同一の事業を営み、市税を完納している中小企業者
- 融資条件 ▽資金用途・運転資金 ▽融資限度・1企業500万円以内 ▽返済方法・5か月以内で一括返済 ▽貸付方法・手形貸付または手形割引 ▽融資利率・年6.8% ▽保証人および担保 取扱金融機関所定の方法
- 取扱期間 11月1日～12月31日
- 問い合わせ 市商工観光課(☎22-4111)へ

年末の水道工事(新設・増設)の 申し込みは12月15日までに

水道局では、年末に行う水道工事を円滑に進めるため、水道の新設、増設工事の受け付けを、12月15日で締め切りますので早めに、市指定の水道工事店にお申し込み下さい。

年末資金はお早目に

- 国民金融公庫山口支店では、年末資金の申し込み受付を開始しました。現在、公庫の融資制度は、年々改正され、また、融資手続きも改善し、より一層ご利用いただきやすくなっています。お気軽にご相談ください。
- 融資限度額 3,500万円以内
 - 返済期間 20年まで取り扱い可能
 - 問い合わせ 国民金融公庫山口支店(☎22-3660)へ

西日本車いすロードレース大会

- 日時 11月25日(日)午前10時～、マラソンの部スタート、10時10分5kmの部スタート
- コース 県維新公園車いすロードレースコース、国道9号バイパスおよびパークロードの一部
- ※西日本各地から約100人の選手が出場します。皆さんの応援をお願いします。

募集コーナー

家庭婦人バレーボール大会

- 日時 12月9日(日)開会式午前8時30分、競技開始午前9時
- 会場 県スポーツ文化センター
- 対象 市内に在住する既婚の家庭婦人および35歳以上(12月8日現在で)の独身女性
- チーム編成 地区またはグループなど自由。人数は監督、コーチ、マネージャー1人づつおよび選手15人以内
- 参加料 1チーム1,000円(大会当日受付で徴収)
- 申し込み 12月3日までに、市教育委員会体育課(☎22-4111)へ

地区対抗男子バレーボール大会

- 日時 12月9日(日)開会式午前8時30分、競技開始9時
- 場所 山口南総合センター
- 参加資格 同一地区に在住している者で構成するチーム(学生は除く)
- チーム編成 人数は監督、コーチ、マネージャー各1人づつおよび選手12人以内
- 参加料 無料
- 申し込み 12月3日までに、市教育委員会体育課(☎22-4111)へ

県立高等産業技術学校 推薦入学生徒

- 募集科目 東部高等産業技術学校 機械科、自動車整備科、電子制御科、冷凍空調科、機械製図科、服飾ファッション科 西部高等産業技術学校 自動車整備科、電子機器科、冷凍空調科、インテリア木工科、建築製図科、情報ビジネス科、観光ビジネス科
- 受付期間 11月22日(木)正午まで
- 問い合わせ 県職業能力開発課(滝町1-1 ☎22-3111)へ

山口南総合センターの 「健康増進トレーニング教室」

- 教室内容 ▽医師によるメデイカルチェック ▽運動生理専門家による適正な運動プログラムの指示 ▽トレーナーによる実技指導
 - 対象者および条件 30歳以上の一般男女で、運動ができる人(現在通院中の人は、主治医に相談のこと)
 - 募集人員 各コース10人(申込順)
- | | 開始月 | 回数 | 時間 | 人数 |
|-----------|--------|----|--------|----|
| 火曜コース(午後) | 12月・2月 | 8 | 13:30～ | 10 |
| 木曜コース(夜間) | 1月・3月 | 8 | 18:30～ | 10 |
- 参加料 1,500円
 - 申し込み 随時、電話で山口南総合センター(大字名田島1218-1 ☎32-8333または☎08397-2-8333)へ

親子でもちつき

- 期日 12月15日(土)・16日(日)(雨天実施)
- 会場 山口県秋吉台少年自然の家
- 参加対象 小学1年から中学3年までの児童・生徒で保護者同伴
- 募集人員 120人
- 主な活動 もちつき、タコ作り、天体観察、レクリエーション
- 参加費 1人2,000円
- 申込締切日 12月10日(月)まで
- 問い合わせ 山口県秋吉台少年自然の家(美東町大字赤 ☎08396-2-0581)へ

職業能力開発訓練生

- 対象者 離職・転職者
- 科目 テクニカルオペレーション科
- 募集人員 10人
- 募集期限 12月10日(月)まで
- 授業料 無料
- 問い合わせ 山口公共職業安定所(☎22-0043)または山口技能開発センター(☎22-1948)へ

編集後記

▽国勢調査の結果、山口市は県内でもトップレベルの増加率4.2%となった。このように順調な人口の伸びは、道路網の整備など社会資本の充実が考えられる。調査結果はこれから詳しく解析されて、市政の推進や健康について考えてみよう。

▽12月2日、ふれあい健康まつりが開かれる。この機会に健康について考えてみよう。

山口市では、恒例の成人式を平成3年1月15日に市民会館で行います。該当者は、昭和45年4月2日から昭和46年4月1日の間に生まれた人です。案内状は、11月1日現在をもとに作成し、12月下旬に送付する予定です。多数のご参加をお願いします。他市町村に登録している人で、参加を希望される人は、市教育委員会社会教育課(☎22-4111)または、最寄りの公民館へお申し出ください。

成人式該当者の皆さんへ

また、ご希望の方は、4月に1年間前納もできます。口座振替の手続きは、金融機関(郵便局を除く)の窓口で受け付けています。預金通帳と銀行印をご持参ください。なお、1年間前納を希望される場合には、申し込みの際、窓口でお申し出ください。口座振替の引き落としは、毎月末日(12月は28日)です。末日が休日の場合、その翌日となります。

■問い合わせ 市保険年金課(☎22-4111)へ

国民年金の納付は口座振替で

国民年金の保険料は納められなかったか。納め忘れはないか、いま一度お確かめください。口座振替にされますと、毎月指定された口座から引き落としになります。毎月納めに行く手間も省け、納め忘れの防止にもなります。

健康コーナー

乳幼児特別クリニック

- 日時 12月3日(月)受付は午後1時～2時
- 場所 山口環境保健所
- 対象 発育・発達について、心配のある乳幼児
- 申し込み 山口環境保健所(☎22-5111)へ。予約制です、必ず電話をしてください。

両親学級

- 日時 12月1日(土)午前9時30分～正午
- 場所 山口環境保健所
- 対象 夫婦
- 受講料 無料
- 持参品 母子健康手帳、エプロン
- 問い合わせ 山口環境保健所(☎22-5111)へ

健康教育受講者を募集

- ◆期日・場所 11月27日・鑄銭司公民館
- 内容 「頭部外傷」
- 講師 外科医師
- ◆期日・場所 12月6日・宮野公民館
- 内容 「民間薬について」
- 講師 薬剤師
- ◆期日・場所 12月7日・仁保公民館
- 内容 「成人病あれこれ」
- 講師 内科医師
- ◎時間 いずれも午後1時30分～3時30分
- ◎受講料 いずれも無料

催し物とお知らせ

山口天神まつり

- 行事 22日午後4時 花神子まつり 23日午前11時 市内中学校新人相撲大会、市内小・中学校剣道大会、午後1時 御網代、備え立て行列、子供たるみこし、獅子舞宝恵篋、長持行列(大市から)、大拝司行列、小拝司行列、花神子行列(八坂神社から)、午後4時からもちまき
- 行列のコース 古熊神社出発～八坂神社出発の大拝司行列などと札の辻で合流 商店街～黄金町～天神通り～古熊天神

※福祉施設入所等により、遠隔地被保険者証を必要とされる人は、市保険年金課または、出張所へ申請してください。

すでに新被保険者証をお持ちの方は、更新の必要はありません。

■問い合わせ 市保険年金課(☎22-4111)へ

第4回 山口市ふれあい健康まつり



昨年の山口市ふれあい健康まつり・薬草コーナー

- 日時 12月2日(日)午前9時40分～午後4時
- 場所 市民会館大ホール、市役所前庭広場、白石公民館、中電ふれあいホール
- 内容〈記念講演〉演題「人生雑感」講師 森繁久彌さん(俳優)午前10時50分～
- ※大ホールに入場される方は、先着順となりますので、お早目にご来場ください。

〈各種コーナー〉健康コーナー、歯のコーナー、薬のコーナー、健康チェック、はり・灸・マッサージ、ふれあい試食、試飲コーナー、健康朝市、ちびっこ広場ほか

県政資料館5周年まつり「いこいと交流」

- 日時 11月18日(日)午前9時30分～午後4時
- 場所 県政資料館
- 内容 ラジオ演芸座「カラオケのど自慢」(KRYラジオ生放送)チャリティーバザー、掘り出し市、山口米「あじいしんの無料配布、子供の広場(アニメ上映、ファミコンコーナー、風船コーナー)、ミニ講座(講師 福田百合子山口女子大学教授)、外国人ディスカッション、名画展(小林和作、香月泰男)、軽音楽の演奏会など
- 問い合わせ 山口県管財課(☎22-3111)へ
- ※同日の午前9時30分から、パークロードで、開通10周年記念行事(パレード、記念式典、県交響楽団アンサンブル演奏)などがあります。

県観光施設整備資金

- 対象 県内で観光事業を営む中小企業者または事業協同組合等
- 対象施設 宿泊施設、交通施設、温泉利用施設、観光客接遇施設、その他の観光施設
- 貸付限度額 1億円または総事業費の80%のいずれか低い額
- 貸付期間 建物の新築、改築、増築…13年以内、その他の施設…10年以内(いずれも据置期間1年)
- 貸付利率 年7.7%
- 問い合わせ 県商業観光課(☎22-3111)または市商工観光課(☎22-4111)へ

12月の不燃物収集日 出張所地区

3日佐山、4日嘉川、5日陶・鑄銭司、7日秋穂二島・名田島、12日大内、14日平川、17日小鯖、18日吉敷、21日仁保、25日宮野、28日大歳

市民無料法律・行政相談

- 日時 11月28日(水)午後1時30分～
- 受付 午後1時～1時30分(希望者多数の場合は、締め切ることがあります)
- 場所 白石公民館(中央二丁目)
- 内容 日常生活上での法律上の問題や、行政に関する要望、苦情など
- 相談員 弁護士、行政監察事務所職員
- 問い合わせ 市広報課市民相談室(☎22-4111)へ

山口県・市町村 中小企業勤労者小口資金

- 対象者 同一事業所に1年以上勤務する勤労者
- 資金使途 教育、冠婚葬祭、療養、その他生活の向上のための資金
- 貸付限度額 大学進学資金 100万円、その他70万円
- 貸付利率 年5.0%
- 貸付期間 大学進学資金5年以内、その他3年以内
- 取扱金融機関 山口県労働金庫、山口銀行、西京銀行、山口信用金庫、吉南信用金庫
- 問い合わせ 市商工観光課(☎22-4111)へ

国民健康保険 被保険者証の更新

現在使われている国民健康保険被保険者証・退職者医療被保険者証は、この11月30日で有効期限が切れま

す。これに伴い、被保険者証の更新を行います。

■更新の時期 11月15日(30日)

■新しい被保険者証の色 一般…うぐいす色 退職…もも色

■更新の方法 納付組織(国保推進員制度を含む)に加入している人は、世話人さんを通じてお届けします。その際、旧被保険者証はお返しください。

納付組織に加入していない人は、原則として新被保険者証を郵送します。なお、旧被保険者証は、市保険年金課または、最寄りの出張所へお返しください。